

食と農林水産

地産地消 (8) もりの木ネットワーク(加古川市)

(2007/02/02)

県産材木の家造り推進

建築、水道などの設備や漆(しゅ)喰(くい)、瓦、植木、耐震設計など、住宅に関連する加古川や姫路、神戸の二十九社でつくる協同組合。兵庫県産材の家造りの推進と職人文化の継承を目標の柱として二〇〇五年に発足した。

「木材を供給する山間部のいわゆる『川上』の活発な業者の動きをみて、市街地で活動する私たち『川下』も頑張ろうと結集した」と理事長の安村義光さん(56)は話す。

背景には中小建築業者の厳しい現状がある。大手ハウスメーカーの住宅が主流となり、工務店が携わる仕事は全体の二、三割。限られた単価での下請けでなんとか続けているところも多い。

「建築の技と文化が衰退し、職人の尊厳も失われれば後継者は育たない。地場産業である自分たちが便利さや利益を追求して地域の森のことを忘れてきた責任も感じるところ」と安村さん。

組合が最も力を入れるのは個々の業者では弱かった情報の収集と発信。木材産地の視察やシックハウスの勉強会のほか、報告会を開いて建築・設備業界の現状や今後の展望などを発表し、組合員で意見を出し合う。

県産材で作った内装品を並べたショールームや、自然素材を多用し、高齢者夫婦でも暮らしやすいようバリアフリーを徹底させたモデル住宅も加古川市内に開設。昨年十一月には組合が初めて受注し、姫路市内に建てた県産材住宅で、家具職人の作品を展示する企画展も開いた。

県産材は、丹波の製材業者から共同購入することで従来に比べ仕入れ価格を二割抑えた。外国産材とほぼ同価格となったことから内装などの従来の用途だけでなく、建築用資材などとしても利用を進めたい考えた。

「地元産の木を使うことが適切な森林の伐採と環境保護につながることを県産材の家造りを通して訴えけるとともに、地元の建築業界の活性化につながるような取り組みを続けていきたい」

(辻本一好)



モデル住宅で竹を組み合わせて作った壁について説明する安村さん(右)ら＝加古川市野口町野口

[地産地消\(7\)](#) < [地産地消\(8\)](#) > [地産地消\(9\)](#)

[[HOME](#)] [[連載・特集TOP](#)] [[この連載のTOP](#)]

食と農林水産



神戸市中央卸売市場の東部市場に完成した花のオーグシニールーム
神戸市東灘区築港1丁目

建築、水道などの設備や暖房、瓦、植木、耐震設計など、住宅に関連する加古川や姫路、神戸の二十九社でつくる協同組合、兵庫県産材の家造りの推進と職人文化の継承を目標の柱として、二〇〇五年に発足した。

もりの木ネットワーク (加古川市)



地産地消
格好の素材
スロー
食の工場

県産材木の家造り推進

「建築の技と文化が衰退し、職人の尊厳も失われれば後継者は育たない。地場産業者である自分たちが便利さや利益を追求して地域の森のことを忘れてきた責任も感じるところ」と安村さん。

組合が最も力を入れるのは個々の業者では弱かった情報の収集と発信。木材産地の視察やシックハウスの勉強会のほか、報告会を開いて建築・設備業界の現状や今後の展望などを発表し、組合員で意見を出し合う。

県産材で作った内装品を並べたショールームや、自然素材を多用し、高齢者夫婦でも暮らしやすいようバリアフリーを徹底させたモデル住宅も

「地元産の木を使うことが適切な森林の伐採と環境保護につながることを県産材の家造りを通して訴えることも」

（日本一好）

モデル住宅や竹を組み合わせ作った壁について説明する安村さん（右）ら。加古川市野口町野口

加古川市内に開設。昨年十一月には組合が初めて受注し、姫路市内に建てた県産材住宅で、家具職人の作品を展示する企画展も開いた。

01年度からこの7年まで

J A兵庫信連は、現在七百社ある県内の優良貸付先を三年で千社までに増やす。県内の森林環境保全や都市と農村との交流活動を支援する取り組みに力を入れ、「地域に根ざした金融機関」をアピールする。日本一好

J A兵庫信連は県内にある十四のJ Aは一日まの役割を明確にし、貸付用事業利益を現在より二割上積み三百五十億円にすることを盛り込んだ二〇〇七年度からの三カ年計画をまとめた。J A兵庫

連は法人向け融資、千五百億円に拡大した個人向け貸し付けを重視。〇七年度以降は、若手農業者らを対象に教育みや住宅ローン向けの貸し出しを強化する。岡崎地区の根ざした金融機関「をアピールする。日本一好

・371-1371